

第4期かこがわ教育ビジョン(加古川市教育振興基本計画)(素案)  
に係るパブリックコメント後に修正した箇所について

◆PI3【主な指標】①②④の現状値の修正、④の指標の差し替え

修正前

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
①話し合いで自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができたと回答した児童生徒の割合	86.6%(R6)	90%
②全国学力・学習状況調査*の「国語」における「読むこと」の正答率の全国平均比	小学校:-2.9(R6) 中学校:+0.2(R6)	全国平均以上
④地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合	85.2%(R6)	90%

↓

修正後

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
①話し合いで自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができたと回答した児童生徒の割合	児童 86.4%(R6) 生徒 86.7%(R6)	90%
②全国学力・学習状況調査*の「国語」における「読むこと」の正答率の全国平均比	児童 -2.9(R6) 生徒 +0.2(R6)	全国平均以上
④学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている児童生徒の割合	児童 84.5%(R6) 生徒 82.9%(R6)	90%

修正の理由

- ①結果の比較がしやすくなるよう整理したため
- ②表現の統一のため
- ④他の基本方針の【主な指標】と重複していたため

◆PI4【具体的な取組】④1つ目の取組の内容の修正

修正前

教科等の学習の中で、社会のしくみを知り、社会の一員としての自覚を持つとともに、社会に参画しようとする意識の醸成を図ります。



修正後

教科等の学習の中で、**こどもの権利や社会のしくみについて正しい知識を学び**、社会の一員としての自覚を持つ**ことを通して、主体的に参画しようとする意識の醸成**を図ります。

修正の理由

パブリックコメントの意見を受けての修正

◆PI5【主な指標】①②③の目標値の修正

修正前

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
①「学習場面でのICT*活用について」の調査で「個別学習」及び「協働学習」ができると回答した教職員の割合	「個別学習」77% 「協働学習」50%	「個別学習」95% 「協働学習」80%
②学級の児童生徒は、Chromebookで自分の考えを図や文章で表現できると回答した学級担任の割合	81%	95%
③1日の授業の中で1人1台端末を活用した児童生徒の割合	57%	80%



修正後

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
①「学習場面でのICT*活用について」の調査で「個別学習」及び「協働学習」ができると回答した教職員の割合	「個別学習」77% 「協働学習」50%	「個別学習」95% 「協働学習」 <b>90%</b>
②学級の児童生徒は、Chromebookで自分の考えを図や文章で表現できると回答した学級担任の割合	81%	<b>100%</b>
③1日の授業の中で1人1台端末を活用した児童生徒の割合	57%	<b>95%</b>

修正の理由

より高い目標値を設定するため

◆PI7【主な指標】①②の現状値の修正、③の表現の修正

修正前

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
①全国体力・運動能力、運動習慣等調査*における体力合計点の全国比	小学校 48.0(男) 小学校 46.9(女) 中学校 46.9(男) 中学校 48.3(女)	全てのカテゴリーで 50.0 以上
②生活習慣が確立している児童生徒の割合	毎日朝食を食べる 91.9%(R6) 毎日同じくらいの時刻に寝ている 81.9%(R6)	毎日朝食を食べる 95% 毎日同じくらいの時刻に寝ている 85%
③施設及び設備の衛生管理において提出された食品衛生監視票の平均値	98.4 点	100 点

↓

修正後

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
①全国体力・運動能力、運動習慣等調査*における体力合計点の全国比	児童 48.0(男)、46.9(女) 生徒 46.9(男)、48.3(女)	全てのカテゴリーで 50.0 以上
②生活習慣が確立している児童生徒の割合	毎日朝食を食べる 児童 92.6%(R6) 生徒 91.2%(R6) 毎日同じくらいの時刻に寝ている 児童 83.6%(R6) 生徒 80.2%(R6)	毎日朝食を食べる 95% 毎日同じくらいの時刻に寝ている 85%
③施設及び設備の衛生管理における食品衛生監視票の平均値	98.4 点	100 点

修正の理由

- ①②結果の比較がしやすくなるよう整理したため
- ③より適切な表現に修正

◆P22【主な指標】②の表現の修正

修正前

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
②学校園と公民館で連携した取組を行ったユニット数	3ユニット	12ユニット

↓

修正後

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
②公民館と学校園で連携した取組を行ったユニット数	3ユニット	12ユニット

修正の理由

表現の統一のため

◆P23【具体的な取組】③2つ目の取組の内容の修正

修正前

市内全ての学校図書館において、学校司書\*等による支援を行い、こどもの読書活動の充実を図ります。

↓

修正後

市内全ての学校図書館において、学校司書\*等による支援を行い、児童生徒の読書活動の充実を図ります。

修正の理由

より適切な表現に修正

◆P25【主な指標】①⑤の表現、②の現状値の修正

修正前

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
①人権に係る事業(人権ひろば、人権フォーラム、ウインターステージ、ハートフルフェスタ)における参加者評価	91%	93%
②いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っていると考えている児童生徒の割合	97.5%(R6)	100%
⑤地域や社会をよくするために何かしてみたいと考えている児童生徒の割合	児童:85.7%(R6) 生徒:78.7%(R6)	90%

↓

修正後

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
①人権に係る事業において関心や理解が深まった参加者の割合	91%	93%
②いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っていると考えている児童生徒の割合	児童 97.6%(R6) 生徒 97.4%(R6)	100%
⑤地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合	児童 85.7%(R6) 生徒 78.7%(R6)	90%

修正の理由

- ①⑤より適切な表現としたため
- ②結果の比較がしやすくなるよう整理したため

◆P27【主な指標】③の表現の修正

修正前

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
③子ども多文化共生サポーター*及び外国人児童生徒等サポート員の派遣によって、児童生徒への支援が充実したと感じた学校(4件法)	3.6	3.8

↓

修正後

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
③子ども多文化共生サポーター*及び外国人児童生徒等サポート員の派遣に <b>より</b> 、児童生徒への支援が充実したと感じた学校(4件法)	3.6	3.8

修正の理由

より適切な表現に修正

◆P28【具体的な取組】③取組の標題及び内容の修正

修正前

標題:外国人児童生徒等への支援の充実

加古川市「外国人児童生徒にかかわる教育指針」に基づき、各校における外国人児童生徒の指導を推進するため、関係機関と連携し、子ども多文化共生サポーター\*や外国人児童生徒等サポート員の派遣の充実や人材の確保、指導方法の研究及び改善に向けた教職員研修の実施など、多様な文化的背景を持つ人々と共生するための取組の推進を図ります。

↓

修正後

標題:**日本語指導が必要な児童生徒**への支援の充実

各校における**日本語指導が必要な児童生徒**の指導を推進するため、関係機関と連携し、子ども多文化共生サポーター\*や外国人児童生徒等サポート員の派遣の充実や人材の確保、指導方法の研究及び改善に向けた教職員研修の**実施などに取り組むとともに**、多様な文化的背景を持つ人々と共生するための取組の推進を図ります。

修正の理由

教育委員のご意見を受けての修正

◆P30【主な指標】④の現状値の修正

修正前

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
④「自分には良いところがある」と感じている児童生徒の割合	85.1%(R6)	87%

↓

修正後

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
④「自分には良いところがある」と感じている児童生徒の割合	児童 85.6%(R6) 生徒 84.5%(R6)	87%

修正の理由

結果の比較がしやすくなるよう整理したため

◆P30【具体的な取組】①3 つ目の取組の内容の修正

修正前

教育委員会が実施する加古川市いじめ防止対策計画及び各学校が実施するいじめ防止対策プログラムの取組状況について、**毎**年度末に検証を行います。

↓

修正後

教育委員会が実施する加古川市いじめ防止対策計画及び各学校が実施するいじめ防止対策プログラムの取組状況について、年度末に検証を行います。

修正の理由

より適切な表現に修正

◆P36【具体的な取組】①2 つ目の取組の内容の修正

修正前

地域の保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校・義務教育学校\*・養護学校が相互に連携しながら、こどもの連続した学びと育ちを支援する取組を推進します。



修正後

地域の保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・義務教育学校\*・養護学校が相互に連携しながら、こどもの連続した学びと育ちを支援する取組を推進します。

修正の理由

法令で規定されている定義に合わせるため

◆P40【現状と課題】課題に追記

修正前

● 課題

教育委員会においては、デジタル技術等を活用して様々な意見の集約などを効率的に実施し、意思決定機関としての十分な協議が行われるようさらなる活性化を進める必要があります。

教職員の勤務時間については、月の超過勤務 80 時間以上の教職員が全体の 8%となっており、働き方改革を推進する必要があります。

勤務の適正化や時短勤務、障がいのある教職員が働きやすい職場環境づくりを推進とともに、管理職を補佐する人材を育成し、より学校マネジメント機能の充実を図る必要があります。



修正後

● 課題

教育委員会においては、デジタル技術等を活用して様々な意見の集約などを効率的に実施し、意思決定機関としての十分な協議が行われるようさらなる活性化を進める必要があります。

教職員の勤務時間については、月の超過勤務 80 時間以上の教職員が全体の 8%となっており、働き方改革を推進する必要があります。

勤務の適正化や時短勤務、障がいのある教職員が働きやすい職場環境づくりを推進とともに、管理職を補佐する人材を育成し、より学校マネジメント機能の充実を図る必要があります。

加えて、地域とともにある学校づくりのさらなる推進に向けて、学校を支える地域人材の積極的な活用も求められています。

修正の理由

教育委員のご意見を受けての修正

◆P44【現状と課題】現状及び課題に追記

修正前

● 現 状

多くの学校施設が建設から40年以上経過し、老朽化が進んでいます。

児童生徒数の減少が著しい各地域で、地元関係者や保護者等を対象に、現状理解と検討のきっかけ作りとしての説明会等を開催・実施し、こどもたちにとってよりよい教育環境のあり方や学校規模の適正化に向けた合意形成への取組を進めています。

～以下、省略～

● 課 題

学校施設に関しては、計画的に施設更新を図っていく必要があります。

各小学校区や年齢層によって、学校規模の適正化に係る考え方や当事者意識が異なるため、両荘地区での取組も参考にしながら、各地域の実情やニーズを踏まえた長期的な視点での効果的な学校規模の適正化を図る必要があります。

～以下、省略～

↓

修正後

● 現 状

多くの学校施設が建設から40年以上経過し、老朽化が進んでいます。

近年増加する猛暑日によって、学校における熱中症リスクが年々高まっています。

児童生徒数の減少が著しい各地域で、地元関係者や保護者等を対象に、現状理解と検討のきっかけ作りとしての説明会等を開催・実施し、こどもたちにとってよりよい教育環境のあり方や学校規模の適正化に向けた合意形成への取組を進めています。

～以下、省略～

● 課 題

学校施設に関しては、計画的に施設更新を図っていく必要があります。

特に、特別教室や体育館における空調整備については、適切な整備手法やコスト等を考慮し、検討を進める必要があります。

各小学校区や年齢層によって、学校規模の適正化に係る考え方や当事者意識が異なるため、両荘地区での取組も参考にしながら、各地域の実情やニーズを踏まえた長期的な視点での効果的な学校規模の適正化を図る必要があります。

～以下、省略～

修正の理由

パブリックコメントの意見を受けての修正

◆P44【主な指標】①の表現の修正

修正前

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
①小中学校における特別教室の空調設置率	71.7%	100%

↓

修正後

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
①小・中学校における特別教室の空調設置率	71.7%	100%

修正の理由

より適切な表現に修正